



# ほむる

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆  
～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～  
【今月の一冊】「やるべきこと」に追われない 自分軸習慣  
一番ヶ瀬 瑤子 著 ディスカヴァー・トゥエンティワン  
ホームページ <https://primecorporation.jp/>

発行日 2026年10月1日 Vol. 288  
発行元 有限会社プライム・コーポレーション  
代表取締役 渡邊 敏徳  
〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲1660番地  
Phone 0554-22-2810 Fax 0554-67-8006

## 日本列島の天災

熊本地震に始まり、千葉、石川、富山、青森、福井、宮崎、屋久島、大島町(東京)、岐阜、愛知、三重など全国で雨による災害が続いています。これから私たちが生活していくうえで、災害について今までとは考え方の視点を変えていかなければいけない様に感じています。

災害は「特別な地域で起きるもの」ではなく、日本のどこに住んでいても起こり得る日常のリスクとして考えることが重要だと思います。内閣府も2026年版防災白書で、災害を「自分ごと」として捉え、平時から備えることを重視しています。

これから私たちが最も意識すべきことは、「災害を防ぐ」だけでなく、「被害を小さくし、生活を早く立て直す」ことを考えることが大切です。

先ず第一に、自分の住んでいる場所のリスクを知ることです。第二に、「行政が助けてくれる」という前提を持ちすぎないことです。第三に、最低3日できれば1週間程度、自力で生活できる準備です。第四に、「家」を守ることです。そして最後に、災害後の生活再建まで考えることです。私達はこれからの防災を、「災害が起きないことを願う」から「災害が起きることを前提に、被害を小さくして生き残る」へ発想を変えることが大切だと考えます。特に日本で暮らしていくには、防災は特別な活動ではなく、これからの生活設計そのものになっていくと考えるべきだと思います。

損害保険を取り扱っているものとしてこれからの災害を考えると、損害保険は「災害に遭ったら保険金をもらうためのもの」ではなく、「被災しても生活・事業を再建できる状態をつくるための金融インフラ」として考えることが重要だと思います。例えば、自宅が全壊したら、費用としていくら必要なかを考えてみることです。住宅再建費だけではなく、仮住まい+引っ越し+生活費+家財購入+住宅ローン+事業再開資金まで考える必要があります。

| 台風の強さ・大きさ            |                 |
|----------------------|-----------------|
| 強さ(最大風速 m/s)         |                 |
| 猛烈な                  | 54以上            |
| 非常に強い                | 44以上 54未満       |
| 強い                   | 33以上 44未満       |
| 大きさ(風速15m/s以上の強風域半径) |                 |
| 超大型(非常に大きい)          | 800km以上         |
| 大型(大きい)              | 500km以上 800km未満 |



ここ数年の地震やゲリラ豪雨のような災害により、火災保険の保険料が高くなることが予想されます。小さな損害は自己負担で、大きな損害は保険で備えるなどの工夫が求められていく時代になりますね。

## 耳の痛い声を聞く

- 1 耳の痛い言葉ほど、いったん受け止める。
- 2 言いにくいことを伝えてくれた勇氣に、まず「ありがとう」と言う。
- 3 反対意見を、反抗と決めつけない。そこに、見落としがあるかもしれない。
- 4 失敗の報告ほど、責めないで、事実をまず聞く。
- 5 現場の小さな違和感を、見逃さない。
- 6 自分の誤りに気づいたら、立場を守らず、すぐに改める。
- 7 良いリーダーは、有能に見られることより、正しい答えに近づくことを選ぶ。



by 岩田松雄



## 【座右の銘にしたい名言】



「叱る」と「褒める」というのは同意語だ。情熱や愛情が無いと、叱っても、ただ怒られているというとらえ方をする。

野村克也(日本のプロ野球選手、監督、野球評論家)